



山代温泉通り商店街振興組合/カクテルバー・スイング  
《山代温泉通り商店街振興組合 まぢ塾共通テーマ：  
「観光と共存する商店街」》

## 山代温泉通り商店街振興組合 × 山代温泉旅館(観光客)

### 1. まぢ塾実施店舗【カクテルバー・スイング】について

- 【テーマ】 バーの楽しさとバーテンダーの役割について  
【塾長】 カクテルバー・スイング 店主 東 光博 氏 (カクテルバー・スイング 代表)  
東あつこ 氏
- 【会場】 カクテルバー・スイング (加賀市山代温泉通り 3 1 番地 4)  
【日時】 平成 2 8 年 2 月 1 1 日 (木・祝) 午後 3 時～午後 5 時  
【内容】 ○【バーの楽しさとバーテンダーの役割について】  
・カクテルバー・スイングの概要について  
・バーの魅力と楽しみ方について  
・接客のプロが話す観光客や地元客に対するおもてなしについて  
○【カクテル作りの実演】  
※受講者が注文したカクテルを目の前で作ります。
- 【対象】 山代温泉葉渡莉の宿泊客並びに地域住民等  
【特徴】 ○東(あずま)夫妻による講話と実演  
カクテルバー・スイングは、東さんご夫妻が役割分担をしながら運営しています。それぞれの得意分野を生かした店舗経営のコツについてお話しします。

- バーの「初心者」も大歓迎  
バーは敷居が高いとのイメージがあります。なぜそう思われているのかを、バーテンダーの役割に触れながら、店長の東さんがお話しします。また、バーの持つ魅力や楽しみ方についてもお話しします。

## ○人気メニューのレシピ公開

カクテルバー・スイングで人気の高いメニュー「ホットワイン」のレシピを公開します。ご家庭でもお楽しみいただけるよう、受講者の方々にお話しします。

## 2. カクテルバー・スイングの概要

店名：カクテルバー・スイング（飲食店）

店主：東 光博

沿革：平成16年加賀市で創業。平成22年に現在地に移転。

特徴：・本格的なオーセンティックバー

バーテンダーがいて、カクテルなどを提供する、伝統的なバーのスタイルを堅持している。

・インターネットでの評判通りのお店

同店に訪れる観光客の中には、事前にインターネットで検索してお店に訪れる方もいらっしゃるとのこと。観光客は、インターネットでの評判通り、店主の温かさに触れ、そして美味しいお酒を楽しみ、満足してお帰りになられるそうです。

・特徴のある建物

元々は銀行であった建物をバーにしており、店内は金庫室など銀行時代の重厚な雰囲気を感じさせる造りとなっている。

・ギャラリー

同店に併設されている「ギャラリー・パノニカ」は山代温泉通り商店街振興組合が運営しているものである。同店が運営を委託されて、東あつこ氏が代表者を務めている。

・JAZZのライブ

同店ではJAZZなどのライブイベントを定期開催している。その情報を「楽歩館(らっぽかん)通信」で県内に告知し、音楽ファンなどを集めている。

・ライブイベントのコーディネート

同店でライブイベントを長年行ってきた経験を活かし、県内各地でコンサート開催のコーディネート(企画、出演交渉、機材などの手配、当日の進行運営など)を行っている。

定休日：火曜日（月に1回連休有り）

営業時間：昼（カフェ） 13：00～19：00

夜（バー） 19：00～25：00

### **3. 山代温泉通り商店街振興組合について**

山代温泉の入口とも言える「九谷広場」から中心部の「山代温泉古総湯」に向かうメインストリートが「山代温泉通り商店街振興組合」です。

九谷広場は昭和40年代までは鉄道の駅がありました。近隣住民や観光客がここに降り立ち、徒歩で総湯に向かいました。温泉通り商店街はこうして形成され、いまも30店舗の多様な商店があり、地元住民の生活に根ざした商業活動を展開しています。

同商店街の店舗の特徴は、多くの店舗が、店舗と住居が一緒になっており、また、同地での営業年数が長く、地域住民を顧客とする地域密着型の商いをしているところにあります。

※山代温泉通り商店街振興組合ホームページ：

<http://www.yamashiro-spa.com/onsendori/index.html>

### **4. 観光と共存する商店街の活動とまち塾**

課題は観光客の取り込みにあります。同商店街のほとんど店舗が地域住民を対象にした品揃えになっており、観光土産などの観光客向けの商品構成には必ずしもなっていません。これまでの取り組みとしては、酒販店グループでプライベートブランド「純米酒やましろ」（鹿野酒造製造）の販売や、和菓子店での「源泉まんじゅう」の販売などを行っていますが、どちらかといえば観光客に対して「待ち」の姿勢となっている店舗が多く、積極的に働きかけを行っている店舗は多くないのが現状です。

山代温泉には、観光客が年間74万人（加賀市観光統計 平成26年度）訪れており、今回のまち塾では、「まち塾」の効果性を高めるために、地域の温泉旅館と連携を行い、少しでも多くの観光客に、商店街に訪れてもらえることを目的に開催することにしました。

具体的には、旅館側では宿泊されるお客様に「まち塾」の告知並びに会場の提供を行い、商店側は連携先の旅館で観光客の方も参加可能なプログラムの「まち塾」を開催する。商店にとっては、旅館との連携によって、観光客に対して個店のPR並びに売上の増加に繋げることが出来るよう、そして旅館は顧客満足度を高めることによりリピーターを生むことが出来るよう、双方に相乗効果が表れ、山代温泉地域の活性化に繋がることを目的に実施します。

主催：山代温泉通り商店街振興組合  
山代温泉商工振興会

後援：加賀市

協力：石川県商店街振興組合連合会  
石川県中小企業団体中央会

## 5. まち塾（まちなか商店学習塾）とは

～地域資源×商店×地域住民で、賑わい創出とまち・ひとの活性化へ～

### ●まち塾のスタイル

まち塾は商店主が塾長を務め、地域にお住まいの皆様にご受講者になっていただきます。塾長が専門店ならではの貴重な情報や地域への思いを語り、また、受講者の皆様の声に耳を傾けます。個性的で経験豊かな商店主の人柄に触れることができるでしょう。

### ●まち塾の目的

まち塾は、商店街のお客様だけではなく、地域にお住まいの皆様と商店や商店街との関係を深めるために開講するものです。まち塾をきっかけに新しい商店街活動が自主的に始まることを目的にしています。

### ●地域資源を活用するまち塾

まち塾は、地域資源を商店街活動に活用することを考えます。地域資源は特産品や文化財だけにとどまらず、まちの景色や風習であったり、魅力的な商店主や住民であったりして、想像力を膨らませれば無限に湧いてきます。山代温泉通り商店街振興組合では「温泉・観光（観光客）」を地域資源ととらえ、「観光と共存する商店街」をテーマにまち塾を企画しました。

### ●今年のまち塾

まち塾は平成26年から始めました。昨年度のまち塾で「発掘」した地域資源には地域の病院、古い町家と町家の連なる街並み、ご近所にある保育園や幼稚園などがあります。それらを活用する試みとして「糖尿病予防の健康料理教室」「町家を活かした店づくりとモノづくり」「絵本の読み聞かせ」などのまち塾を開講しました。